

# りんご苗木に発生する根頭がんしゅ病の発生実態と予防法

農林総合研究センターりんご試験場

りんごの苗木を育成する過程で、根頭がんしゅ病の発生が問題になっています。これまでは有効な防除対策がなく、毎年10～20%程度の苗木が本病の被害を受けて廃棄・処分されています。そこで、生物農薬「バクテロース」を利用した根頭がんしゅ病の予防対策の確立に取り組みました。



りんご苗木の育成



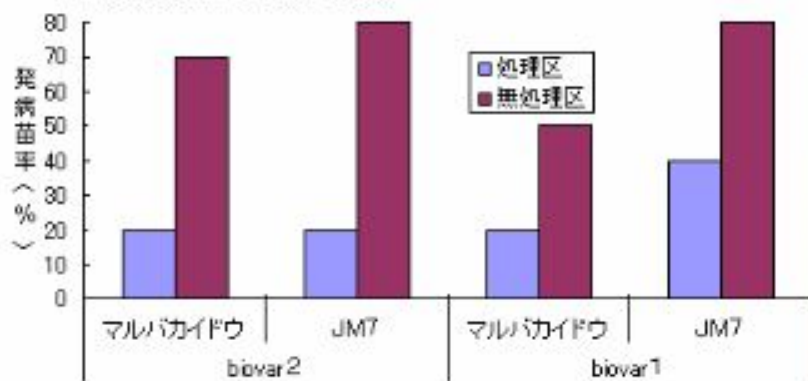
被害部の拡大

根頭がんしゅ病は台木部分などの根部に褐色不整形で凹凸が目立つこぶを形成し、苗木の生育を阻害します。



## バクテロースの予防効果

青森県には性質の異なるbiovar 1 と biovar 2 と呼ばれる2種類の病原菌が生息しています。バクテロースはどちらの病原菌にも有効です。



バクテロースの予防効果(接種試験 平成18年)

## バクテロースの使用方法

20倍に希釈して苗木の根部を1時間浸漬



浸漬後速やかに植付け

最新の「農薬登録情報」を必ず確認してください。

## 今後の展開

バクテロースは現在のところ、苗木の根部浸漬処理での利用に限られています。マルバカイドウ（りんごで普通に使用されている台木）のように挿し木繁殖を行う際にも利用できるように登録拡大を目指した研究を行っています。

## お問い合わせ

りんご試験場病虫部まで(Tel.0172-52-2331)